

別表 - 1 生コンクリート標準配合表

(令和3年2月15日以降適用) (訂正2月18日)

単価コード	設計表示名称	仕様内訳(配合)							適用構造物	設計基準強度 (ck) N/mm ²	普通ポルトランドセメントの単価コード
		コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	セメントの種類による記号	水セメント比 W/C(%)	セメント量 (kg/m ³)			
T1631	18-8-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 65%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注15}	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート	-	T1634
T1632	18-8-40(高炉) w/c 65%	普通	18	8 ^{注11}	40	BB	65以下	[共通]	均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート	-	T1635
TZJ2012001	18-8-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 60%	普通	18	8 ^{注11}	25(20) ^{注15}	BB	60以下	[トンネル] [河川・砂防] [下水道]	管渠の巻上コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水樹、埋戻しコンクリート、ブロック積(張)の胴込、裏込コンクリート、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋)	18	TZJ2010001
TZJ2012010	18-8-40(高炉) w/c 60%	普通	18	8 ^{注11}	40	BB	60以下	[道路] [トンネル] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(無筋)、管渠の巻上コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水樹、埋戻しコンクリート、橋台(無筋)、橋脚(無筋)、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋)	18	TZJ2010036
TZJ2012008	18-5-40(高炉) w/c 60%	普通	18	5	40	BB	60以下	[河川・砂防]	砂防コンクリート(護岸工を除く)	18	-
T1643	21-8-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 60%	普通	21	8 ^{注11}	25(20) ^{注15}	BB	60以下	[海岸]	河川構造物(無筋)、練石積(張)の胴込、裏込コンクリート、海岸構造物(無筋)	21	-
T1644	21-8-40(高炉) w/c 60%	普通	21	8 ^{注11}	40	BB	60以下	[河川・砂防] [海岸]	河川構造物(無筋)、河川根固ブロック、海岸構造物(無筋)、海岸消波根固ブロック(無筋)	21	-
TZJ2012002	21-8-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 55%	普通	21	8 ^{注11}	25(20) ^{注15}	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16 注17}	21	TZJ2010009
TZJ2012019	21-8-40(高炉) w/c 55%	普通	21	8 ^{注11}	40	BB	55以下	[河川・砂防]	水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16 注17}	21	TZJ2010048
TZJ2012005	24-12-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 55%	普通	24	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	BB	55以下	[共通] [道路] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(鉄筋)函渠、側溝蓋、集水樹蓋、胸壁(ハット)ケソウ、橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋)	24	TZJ2010018
T1642	24-12-40(高炉) w/c 55%	普通	24	12 ^{注14}	40	BB	55以下	[共通] [道路] [河川・砂防] [下水道]	擁壁(鉄筋)函渠、ケソウ、深礎、橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋)	24 (21)は深礎	TZJ2010059
T1653	30-12-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 50%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	BB	50以下	[道路] [海岸]	[塩害対策用] ^{注18} 、橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、擁壁(鉄筋)函渠、[塩害対策用] ^{注18} 、海岸構造物(鉄筋)	30	T1645
T1654	30-12-40(高炉) w/c 50%	普通	30	12 ^{注14}	40	BB	50以下	[道路] [海岸]	[塩害対策用] ^{注18} 、橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆、擁壁(鉄筋)函渠、[塩害対策用] ^{注18} 、海岸構造物(鉄筋)	30	-
T1650	30-12-25(20) ^{注15} (高炉) w/c 55%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	BB	55以下	[道路]	消雪バド埋戻	30	TZJ2010029
TZJ2012006	(30)-15-25(20) ^{注15} (高炉) C 350kg	普通	(30) ^{注8}	15 ^{注12}	25(20) ^{注15}	BB	55以下	[共通]	場所打ち杭(ハルトリアースードリル等)	24	-
T1630	(30)-15-40(高炉) C 370kg	普通	(30) ^{注8}	15	40	BB	50以下	[海岸]	海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)	-	-
TZJ2012040	(18)-15-40(高炉) C 270kg	普通	(18) ^{注8}	15	40 ^{注16}	BB	60以下	[トンネル]	トンネル(アーチ、側壁)	-	TZJ2010073
TZJ2010018	24-12-25(20) ^{注15} (普通) w/c 55%	普通	24	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	N	55以下	[道路]	PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7}	24	-
T1656	30-12-25(20) ^{注15} (早強) w/c 55%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	H	55以下	[道路]	PC桁(横組)	30	-
TZJ2010029	30-12-25(20) ^{注15} (普通) w/c 55%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	N	55以下	[道路]	合成床版 ^{注7}	30	-
T1652	30-12-25(20) ^{注15} (普通) w/c 50%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	N	50以下	[道路]	[塩害対策用] ^{注18} 、PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7} 、合成床版 ^{注7}	30	-
T1651	30-12-25(20) ^{注15} (早強) w/c 45%	普通	30	12 ^{注14}	25(20) ^{注15}	H	45以下	[道路]	[塩害対策用]注17PC桁(横組)	30	-
T1657	40-12-25(20) ^{注15} (早強)規格外品 w/c 55%	普通	40	12 ^{注13}	25(20) ^{注15}	H	55以下	[道路]	PC桁(1桁) ^{注14 注17}	40	-
T1655	40-12-25(20) ^{注15} (早強) w/c 45%	普通	40	12 ^{注13}	25(20) ^{注15}	H	45以下	[道路]	PC桁(箱桁・中空床版 ^{注7}):高性能減水剤等使用	40	-
TZJ2012027	曲げ4.5-2.5-40(高炉) w/c 45%	舗装	曲げ4.5	2.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装	曲げ4.5	TZJ2010069
TZJ2012029	曲げ4.5-6.5-40(高炉) w/c 45%	舗装	曲げ4.5	6.5	40	BB	45以下	[道路]	コンクリート舗装(簡易な舗設機械及び人力による舗設)	曲げ4.5	TZJ2010071

- 基本 1.用途については標準的なものを示したもので、構造物の目的、現場条件等を考慮して水セメント比等の配合を決定する。
- セメント 2.コンクリートの配合は、原則として構造物の設計基準強度または要求性能上必要な水セメント比のいずれか厳しい条件で選定する。
- 3.「セメントの種類による記号」とは次のとおりとする。【N:普通ポルトランドセメント、BB:高炉セメントB種、H:早強ポルトランドセメント】
- 4.セメントは、橋梁上部工に用いるコンクリートを除き、原則として高炉セメントB種を使用する。なお、海岸・砂防以外の用途では、確実なひび割れ対策が必要な場合、早期強度を必要とする場合や寒中コンクリートの場合等、必要に応じて高炉セメントB種以外のセメントを使用出来る。
- 5.鋼橋のコンクリート床版では収縮に問題が無く、入念な養生を行うことで高炉セメントを使用することができる。
- 6.普通ポルトランドセメントを使用する場合は「セメントの種類による記号」欄のBBをNと読み替え、「普通ポルトランドセメント使用の場合の単価コード」欄の単価コードを使用する。
- 混和材(剤) 7.床版、合成床版、PC床版等で膨張材を使用する場合など、特殊な混和材(剤)を使用する場合は、別途考慮する。
- 強度 8.呼び強度は、早強ポルトランドセメント及び特殊な配合を使用する場合を除き材齢28日の供試体強度とし、圧縮強度試験は、JIS A 1106及びJIS A 1132による。
- 9.呼び強度の()内は参考値である。
- 空気量 10.AEコンクリートを用いることを原則とし、空気量は4.5%を標準とする。
- スラブ 11.スラブ打設でスラブ8cmよりがたい場合は12cm、または「打ち込み時の最小スラブ」を満足する生コン荷卸し地点の目標スラブ」でスラブを指定することができる。
- 12.30-15-25(高炉)について、スラブは18cmとすることができる。
- 13.40-12-25(早強)について、高性能AE減水剤を使用することとする。スラブは12cmを標準とするが、契約後現場条件等で標準によりがたい場合は受発注間で協議を行い変更することができる。
- 14.鉄筋コンクリートのスラブは12cmを標準とする。但し、契約後現場条件等で標準によりがたい場合は、受発注間で協議を行いスラブを変更することができる。
- 骨材 15.粗骨材規格欄の25(20)は、25mm砂利か、20mm砕石のいずれかを使用する生コンであることを示す。
- 16.トンネル(アーチ、側壁)に使用するコンクリートの粗骨材の最大寸法40mmは、部材最小寸法、鉄筋の最小あき、かぶりにより25mmとすることができる。
- 耐久性等 17.水密性を要求する構造物は水槽・地下室等の構造物、凍結融解抵抗性を要求する構造物は連続してあるいはしばしば水で飽和される部材断面が20cm程度以下の構造物(地中の構造物を除く)とする。
- 18.塩害地域の橋梁等における耐久性に関する設計上の目標期間として100年を目安とする場合の水セメント比は、道路橋示方書・同解説「コンクリート橋」コンクリート部材編(平成29年11月、社団法人日本道路協会)P186表-解6.2.1に示す水セメント比以下とする。
- 条件明示 19.注4、5、6、7、10、11、12、13、16、18で標準と異なる条件となる場合は、施工条件総括表に明示する。